

田植えの進捗状況 (5月20日現在概況速報) について

農業普及技術課 農業革新支援担当

各農業改良普及センターでは5月20日現在の田植えの進捗状況について一斉調査を実施しました。調査の結果及び栽培管理のポイントは以下のとおりです。

【調査結果】

- 1 5月20日現在、県全体の田植え進捗率は67%であり、直近3ヵ年とほぼ同程度の進捗である。
- 2 地帯別の進捗率は、北上川下流が80%、東部は71%であり、まもなく田植え終期となる見込み。また、北上川上流は46%でほぼ田植え盛期に達しており、北部は10%で始期を迎えている。
- 3 曇雨天と低温により田植えの進捗はやや鈍化しているが、23日以降は平年並みの気温に回復し、晴天日も予想されていることから、県全体では概ね適期内(5月25日まで)に田植え終期に達すると見込まれる。

表1 地帯別田植えの進捗状況 (5月20日現在, 各農業改良普及センター調べ)

地帯名	過年度同時期の				田植え時期								
	田植え進捗率 (%)				本年 (月/日)			平年 (月/日)			平年差 (日)		
	本年	R1	H30	H29	始期	盛期	終期	始期	盛期	終期	始期	盛期	終期
北上川上流	46	55	60	37	5/15			5/17	5/21	5/26	-2		
北上川下流	80	81	81	76	5/9	5/15		5/10	5/15	5/22	-1	0	
東 部	71	61	66	52	5/11	5/16		5/12	5/16	5/23	-1	0	
北 部	10	25	13	7	5/20			5/20	5/24	5/28	0		
県 全 体	67	71	72	62	5/11	(5/17)		5/12	5/17	5/23	-1	(0)	

注1) 平年値は平成22年～令和元年の10カ年の平均値(地帯別作付面積による加重平均)

注2) 始期: 10%終了、盛期: 50%終了、終期: 90%終了

注3) カッコ内は推定値。

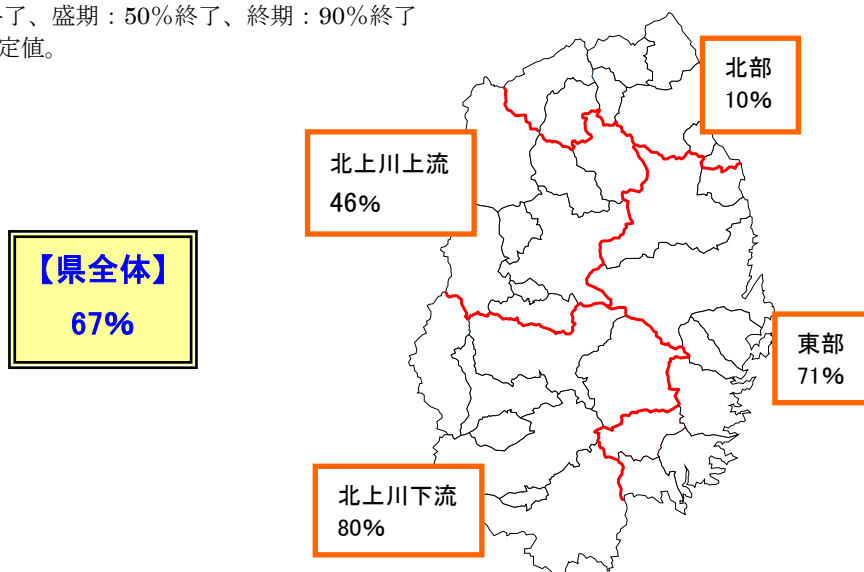


図1 地帯別田植え進捗率 (5月20日現在: 各農業改良普及センター調べ)

【栽培管理のポイント】

- 1 田植え作業は低温時や風雨の日を避け、できるだけ暖かい日を選んで行う。
- 2 田植え直後は、植え傷みにより苗の吸水力が低下しているため、活着するまでの期間は蒸散を抑えるよう、やや深めの水管理(葉先が2~3cm水面から出る程度)とする。
- 3 活着後は、分けつの発生を促進するため浅水管理(水深2~3cm)とし、水温や地温の上昇をはかる。ただし、気温が15℃以下の場合や強風時は、葉先が出る程度の深水管理とする(低温であっても、日照があり風のない日は、浅水管理とする)
- 4 かんがいは、気温と水温の温度差が少ない朝夕に行い、日中は水を動かさないこと。